

- 問1 北九州市の産業と人口の推移について述べた次の文のうち、1980年代以降の統計的な傾向を正しく説明しているものはどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
1. 製造品出荷額において機械工業が削減したため、急激な人口増加が起きた
 2. 再開発によって鉄鋼業が復活し、製造品出荷額が1980年以前の水準を超えた
 3. 人口は1980年以降も一貫して増加し続け、鉄鋼業の出荷額も伸び続けている
 4. 製造品出荷額に占める鉄鋼業の割合が大幅に減少し、人口も減少傾向にある
- 問2 九州地方の各県を比較した統計において、小麦の収穫量が約8,800トン、携帯電話の加入数が約1,114,000件である一方、温泉の源泉数が4,342箇所と他県に比べて突出して多い特徴を持つ県はどこですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 沖縄県
 2. 大分県
 3. 佐賀県
 4. 愛知県
- 問3 九州地方の北西に位置し、朝鮮半島との最短距離にあることから、歴史的に大陸との外交や貿易の中継地となってきた島があります。鎌倉時代に元軍が日本へ侵攻した際にも、その地理的条件から最初の攻撃対象となったこの島の名称は何ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 佐渡
 2. 対馬
 3. 隠岐
 4. 五島列島
- 問4 阿蘇山周辺から熊本県南部にかけての自然景観と、人々の生活や産業の関わりについて述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 年間を通じて降水量が少なく乾燥しやすいため、平野部には「ため池」が各地に点在している。
 2. 日本海側の気候の影響を強く受けるため、冬季には季節風による大量の降雪が見られる。
 3. 広大な平野部では、土砂の堆積によって形成された干拓地を利用した大規模な稲作が行われている。
 4. 火山群の周辺には多くの温泉が点在し、国立公園としての景観を活かした観光業が盛んである。
- 問5 九州地方などの畜産業において、外国から安価な牛肉や豚肉の輸入が増加した際、国内の農家が経営を維持するために取った戦略として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 外国産の肉に対抗するため、生産コストを極限まで下げて安売り競争を続けた。
 2. 「宮崎牛」などの名称を冠したブランド化を進め、品質の高さで差別化を図った。
 3. 外国からの輸入を完全に禁止するよう国に強く働きかけ、市場の独占を目指した。
 4. 畜産業から撤退し、すべての農地を海外輸出向けの果樹栽培に転換した。
- 問6 九州地方南部に位置する鹿児島県では、肉用牛や豚、ブロイラーといった畜産業が全国有数の規模で行われています。このように、鹿児島県で稲作よりも畜産業や畑作が発展した地理的な要因として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 平野部が広大で機械化が容易であり、大規模な牧草地の確保が容易であったため。
 2. 内陸部の盆地において、冬の厳しい寒さを利用した飼育方法が確立されたため。
 3. 日本海を流れる対馬海流の影響で年間を通じて降水量が多く、牧草の成長が早いため。
 4. 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。
- 問7 九州地方の農業の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. シラス台地の地層は果樹栽培に最も適しているため、リンゴやブドウの産出額が全国1位となっている。
 2. 九州南部は平野が広く水利が良いため、農業産出額のほとんどを米（稲作）が占めている。
 3. 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。
 4. シラス台地は保水力が非常に高いため、サトウキビなどの工芸作物を中心とした農業が行われている。
- 問8 九州南部に広がるシラス台地は、その土壌の性質から水持ちが悪く、かつては稲作を行うことが困難でした。このような自然環境を背景に、この地域で特に発展した農業の形態として最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 果樹園でのリンゴ栽培と、大規模なブドウの生産
 2. 冷涼な気候を利用したレタスやキャベツの高原野菜栽培
 3. サツマイモや茶の栽培、および豚や肉用牛の畜産
 4. 水に恵まれた環境を活かした二期作による稲作
- 問9 九州地方の自然環境に関する説明として、火山の活動によってできた「大きなくぼ地」を指す用語と、その形成過程の説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 盆地：周囲を山地に囲まれ、地殻変動によって相対的に低くなった
 2. カルデラ：火山の噴火やその後の陥没によって形成された
 3. シラス台地：火山噴出物が積もってできた、水はけのよい台地
 4. 断層：地震などの地殻変動により、地層にズレが生じてできた
- 問10 九州・沖縄地方の産業構造について、人口密度が約632.7人/km²で、第3次産業の割合が約80.7%と極めて高い数値を示す県があります。この県の第3次産業がこれほどまでに高い割合を占めている背景として、最も適切な説明を選択してください。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. シリコンアイランドと呼ばれ、IC（集積回路）の生産工場が沿岸部に集中しているため
 2. 亜熱帯の気候や独自の文化を活かした観光業が、県の経済を支える中心となっているため
 3. 広大な平野を利用した大規模な稲作が行われ、農産物の加工業が発展しているため
 4. 鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が古くから発展し、第2次産業を牽引しているため
- 問11 鹿児島県では、海外から輸入される安価な豚肉に対抗するため、どのような農業戦略を強化してきましたか。その背景と内容の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 経営規模を拡大するとともに、「かごしま黒豚」などのブランド化を行い、品質の高さで差別化を図る戦略。
 2. 飼育にかかるコストを削減するため、品種改良を中止し、安価な外国産品種の導入を進める戦略。
 3. 飼育戸数を大幅に増やすことで国内市場を独占し、輸入豚肉と同等の低価格を実現する戦略。
 4. 豚肉の生産を縮小し、より単価の高い肉用牛の飼育へ全面的に転換することで収益を確保する戦略。
- 問12 宮崎平野や高知平野の位置が示された地図において、これらの地域で温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどを使って野菜の出荷時期を通常より早める工夫が見られる場合、この農業形態は何と呼ばれるか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 企業的農業
 2. 近郊農業
 3. 抑制栽培
 4. 促成栽培
- 問13 日本の諸地域について述べた統計資料において、九州地方に位置し、航空路線の国内線旅客数が約990万人と非常に多く、さらに鉄鋼業の出荷額も高いという特徴を持つ県はどこですか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 北海道
 2. 宮城県
 3. 愛知県
 4. 福岡県